

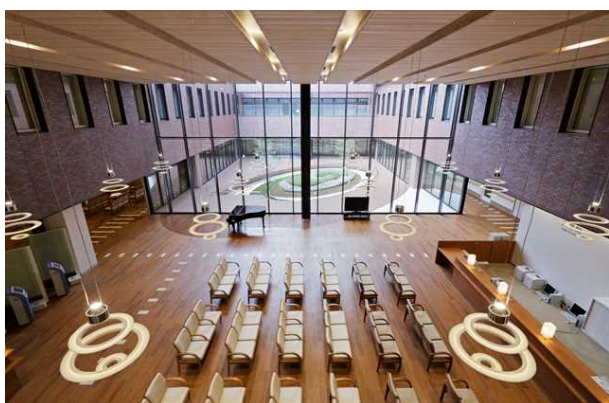
淡路医療センターが「公共建築賞・優秀賞」に選定されました



一般社団法人公共建築協会が、設計・施工に優れ、地域社会への貢献が著しく、施設管理・保全が良好な公共施設を表彰する「第16回公共建築賞『公共建築賞・優秀賞』」に、兵庫県立淡路医療センターが選ばれました。

淡路医療センターは淡路圏域の中核病院、唯一の公立病院として、救急医療を含む高度専門医療の提供や地域医療支援病院として医療・介護連携を推進することなどを目指して整備され、平成25年5月に新築移転しました。

屋上庭園や木質系仕上げ材料の積極的使用、太陽光発電の導入など環境にやさしい設計としており、災害に強い構造や患者に分かりやすい動線、外観は煉瓦を基調とし、周辺環境と調和していることなどが評価され、今回の受賞となりました。



外来ロビーと中庭テラス



病室（木質系材料の使用）

本賞は、竣工後3年以上が経過した国・自治体の建築物を対象に、昭和63年から1年おきに選定されています。16回目となる今年は、全国から102施設の応募があり、当院を含む32施設が優秀賞として選ばれました。この中から、最終審査において、行政施設・文化施設・生活施設の3部門でそれぞれ最も優れた建築物1点ずつを「公共建築賞」として、また、特に優れた特徴を持つ建築物が「公共建築賞・特別賞」として選定されることとなっています。

※一般社団法人公共建築協会の優秀賞発表ページ

https://www.pbaweb.jp/pb_date/award/news/16th_pbaward_opa_180412/